

心理学の基礎<1>

第15回 まとめ

担当／浜村 俊傑

本日の授業内容

1. 期末試験の概要
2. 質問フォームの回答
3. 各授業のまとめ

質問フォームの回答

Q：レジユメのどの範囲を覚えてほしいのか教えてください。

A：先日お送りしたキーワードを中心に試験対策をしてください

質問フォームの回答

Q：正の強化と負の強化および正の弱化と負の弱化の違いを説明してください

A：

- ◆正の強化は特定の刺激が与えられて特定の行動が強まるのに対して、負の強化は特定の刺激が取り除かれて特定の行動が強まります。
- ◆正の弱化（罰）は特定の刺激が与えられて特定の行動が弱まるのに対して、負の弱化（罰）は特定の刺激が取り除かれて特定の行動が弱まります

質問フォームの回答

正の強化の例	与えられる好い刺激	増える行動
期末テストのために勉強する	期末テストで良い点数が取れる	勉強する
負の強化の例	取り去られる嫌いな刺激	増える行動
遅刻して注意されるから時間を守る	注意される	遅刻しないように時間を守る
正の弱化（罰）の例	与えられる嫌いな刺激	減る行動
おやつをつまみ食いすると叱られる	叱られる	おやつをつまみ食いする
負の弱化（罰）の例	取り去られる好い刺激	減る行動
今まで利用していた道のカーブミラーを乱暴な運転で破損した結果、工事のため立入禁止になった	今まで利用できた道の立入禁止	乱暴な運転

質問フォームの回答

Q：構成主義、行動主義、機能主義の違いを説明してください。

A：以下の表にまとめました

立場	明らかにしようとしたこと	主張
構成主義 (constructivism)	心の構造	心(意識)は要素に分解できる
機能主義 (functionalism)	心の機能	心の分解は不可能なので「過程」を探るべき
行動主義 (behaviorism)	心の観察の客観性	心理学は客観的科学であらねべき。意識ではなく行動を研究するべき（純粋行動主義）

第1回 イン트로ダクション

心理学とは

- ◆「科学に基づいた行動および心理過程」 (Myers, 2013)

幅の広い学問

- ◆「科学と哲学の間」「科学と文学の間」
「脳と社会の間」 (無藤ら, 2018)

現代の心理学

- ◆科学的根拠を重視している

第2回 心理学の歴史

◆哲学や生理学からの発展

◆ヴント=最初の心理学者

【構成主義】 意識の分解

【機能主義】 心の過程の理解

【精神分析】 無意識の重要性

【行動主義】 徹底的に経験に基づく学習と客観性

【ゲシュタルト心理学】 部分ではなく全体をみる



https://en.wikipedia.org/wiki/Wilhelm_Wundt

【認知心理学】
心は情報処理システム

第3回 心理学の方法

調査法：アンケート，短時間で多数に実施可能

実験法：操作された環境内で因果関係の推論

観察法：現実場面での振る舞いの測定

面接法：一人や数人の会話，質の高いデータ

検査法：支援のため個人の状態や能力の測定

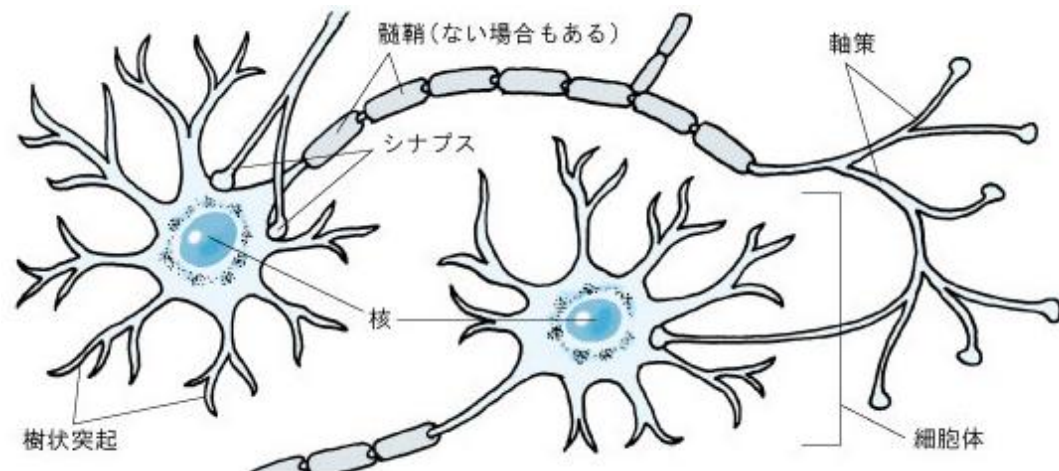
生理学的方法：脳画像，脳波，心拍数

◆信頼性：測定は安定しているか

◆妥当性：目的に沿ったものを測れているか

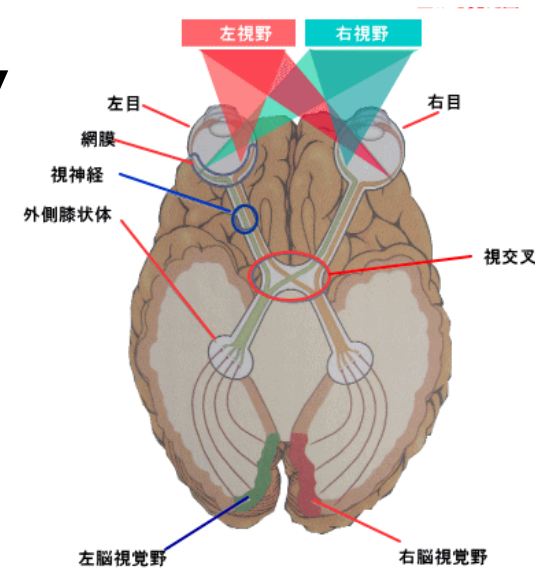
第4回 脳の働き

- ◆脳の構造（大脳，中脳，小脳等）
- ◆大脳皮質：大脳の表面でシワになっている
- ◆神経細胞（ニューロン）：情報を送受信している
- ◆シナプス：神経細胞には間隙があり，神経伝達物質は放出される

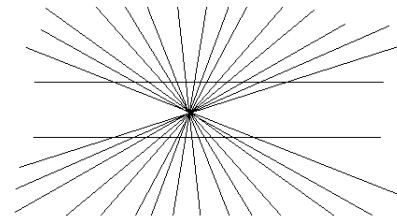


第5回 感覚と知覚

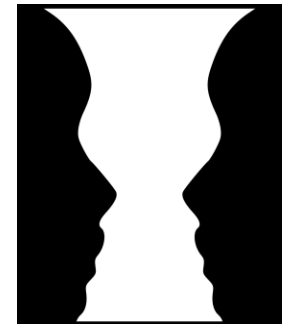
- ◆感覚：外界をどのように体験しているのか，刺激を受け取るのか
- ◆知覚：外界からの刺激をどう認識するのか
- ◆ゲシュタルト=全体，まとめり
- ◆図と地は区別されている
- ◆恒常性=変化しても同じものと知覚する
- ◆錯覚は「心の動き」



<https://www.js-brain.com/kankaku/sikousa.html>



<https://plaza.rakuten.co.jp/fusiginet/9001/>



[https://en.wikipedia.org/wiki/File:Figure%E2%80%93ground_\(perception\)](https://en.wikipedia.org/wiki/File:Figure%E2%80%93ground_(perception))

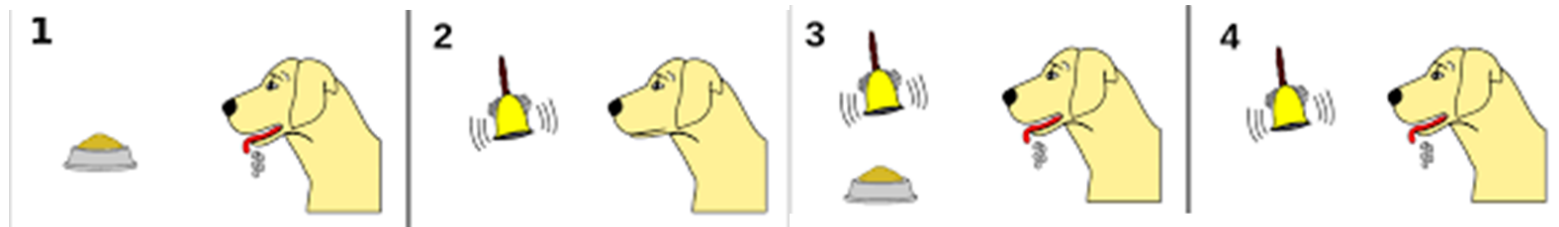
第6回 学習

学習

◆経験を通じて行動に持続的な変化が生じる

古典的（レスポナント）条件づけ

◆条件反射に関する学習（刺激に対しての反応）



<https://ameblo.jp/otaisan1210/entry-12501725555.html>

オペラント条件づけ

◆強化あるいは弱化（罰）によって，条件刺激と条件反応の連合を強める学習

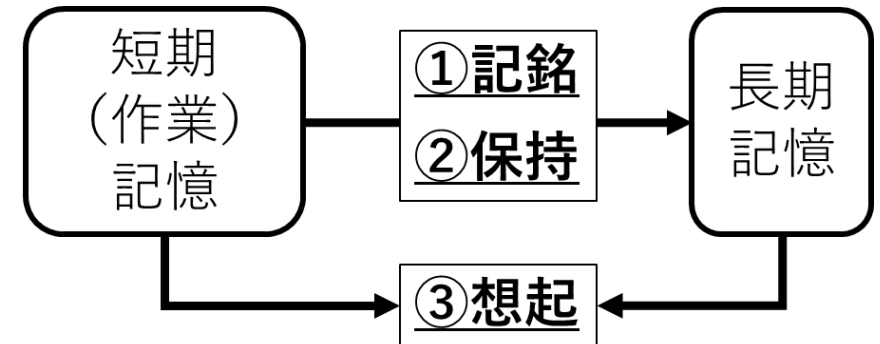
その他の学習

◆洞察学習（ひらめき），潜在学習，観察学習などが存在する

第7回 記憶

記憶形成の一連の流れ

1. 記銘=情報を取り入れる
2. 保持=情報を蓄える
3. 想起=情報を取り出す



記憶の種類

- ◆感覚記憶=一瞬だけ残り, ほとんどは失われる
- ◆短期 (作業) 記憶=一定の期間と量の情報が残る
- ◆長期記憶=半永久的に情報が残る

忘却

- ◆忘却曲線によると1日経つと2/3の情報は忘れる

第8回 性格（パーソナリティ）

性格（パーソナリティ）

◆個人の思考，感情，行為の特徴的パターン

精神分析

◆フロイトの理論：無意識の働き，性的・攻撃的衝動

ユングの理論／2つの態度と4つの機能（類型論）

アドラーの理論／社会的緊張，劣等コンプレックス

人間性理論

◆人は最善の可能性があり，それに向かっている

◆マズローの5段階欲求

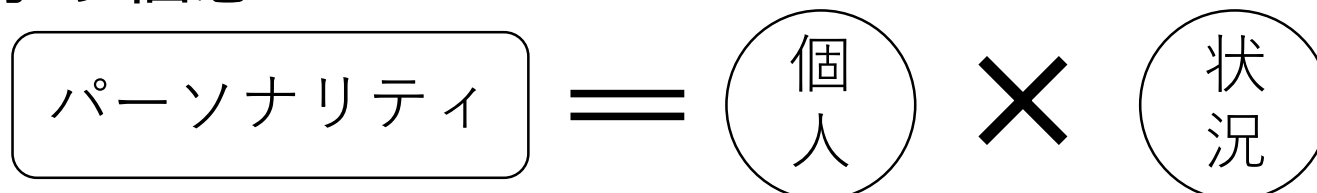
第9回 性格（パーソナリティ）

特性論

- ◆ 類型ではなく、次元でパーソナリティを捉える
- ◆ アインゼングの性格理論／外向性－内向性，安定－不安定（2次元）
- ◆ Big Five尺度／外向性，開放性，誠実性，調和性，神経症傾向

社会認知理論

- ◆ パーソナリティは自己と環境の相互作用で形成される
- ◆ 統制の所在＝自分にどれほどコントロール感があるかを示す信念



第10回 思考と言語

思考

- ◆アルゴリズム／秩序立った論理的な手続き。遅いが確実
- ◆ヒューリスティック／効率的で単純。速いが間違えやすい
- ◆確証バイアス／自分の先入観を支持する情報を求め、つじつまの合わない証拠を無視したりゆがめたりする

言語

- ◆生後24カ月で急速に言語の習得が行われる
- ◆ボトムアップ処理とトップダウン処理で言語を処理している
- ◆異なる脳の領域が言語を司っている（失語の例）

第11回 動機づけ

動機づけとは

- ◆ 行動に力を与え方向づける欲求や欲望
- ◆ 「本能(instinct)」 「動因(drive)」 「欲求の階層(hierarchy of needs)」 など様々な捉え方がある
- ◆ 生物学的・心理学的・社会文化的影響を受けている
 - 例／摂食行動, 性行動, 所属
- ◆ 動機づけは仕事やパフォーマンスと関係しており, 職場の満足度に影響する

2種類のリーダーシップ

- ◆ 課題リーダーシップ
- ◆ 社会的リーダーシップ

第12回 発達

児童期までに獲得するの代表的な機能

- ◆**対象の永続性**／物事が知覚されていなくとも存在し続けるという意識
- ◆**数量の保存**／対象の形が変わっても属性は同じという原理
- ◆**心の理論**／自分とは異なる信念をもった行為として他者を捉える

思春期

- ◆身体的な発達とアイデンティティの形成



<https://www.massey.ac.nz/~wwpapajl/evolution/assign2/MH/webpage.htm>

成人期以降

- ◆様々なライフイベントと身体的能力の低下
- ◆中年の危機／人生が未来ではなく過去を指し始める時期
- ◆老年期／死別体験の増加と幸福度の上昇傾向

第13回 社会心理学

態度と行動の相互関係

- 態度→行動（周辺・中心ルートによる説得）
- 行動→態度（foot-in-the-door, door-in-the-face techniques）

役割の影響

◆スタンフォード刑務所模擬実験

他者への同調や服従する

◆ミルグラムの服従実験

他者の存在

◆パフォーマンスの上昇＝社会的促進

◆パフォーマンスの低下＝社会的手抜き

お互いに好きになる3要素

◆近接性，魅力度，類似性



http://www.roudousha.net/mind2/010_milgram.html

第14回 異常心理学・臨床心理学

精神障害の定義

- ◆逸脱して苦痛で機能不全をもたらす思考，感情，行為のパターン

代表的な診断マニュアル

- ◆DSM-5やICD-11



精神障害の例

- ◆気分障害，不安障害，強迫性障害，心的外傷後ストレス障害(PTSD)，発達障害が挙げられる

心理療法

- ◆二者で行うものからグループで行うものまで様々な方法が存在する
- ◆心理療法は一般的には査定を行って治療を実施する

最後に

- ◆心理学は様々な領域が存在する
- ◆今学期に取り上げた内容はその代表的な領域と代表的な内容
- ◆歴史的な心理学のアプローチを見ると、科学に近い手法もあれば、比較的遠い手法がある
- ◆心を理解するのはやはり容易ではない
- ◆心理学の知見は産業，医療，福祉，司法・矯正など様々な領域で応用されており，研究の責任は大きい

最後に

心理学の学びを深めたい方へ

- ◆他の心理学の授業を受講することをお勧めします
- ◆研究に関心がある人には大学院で基礎系の心理学を学ぶことをお勧めします（認知心理学，発達心理学，等）
- ◆臨床・実践に関心がある方は大学院で応用系の心理学を学ぶことをお勧めします（臨床心理学，教育心理学，等）

引用文献

Myers, D. (2013). Psychology. New York: Worth Publishers (マイヤー, D.G. 村上郁也 (監訳) (2015). カラー版 マイヤーズ心理学. 西村書店.)

無藤 隆・森 敏昭・遠藤 由美. (2018). 心理学 Psychology; Science of Heart and Mind (新版) 有斐閣